

蘇聯最近の鐵道と道路

——第十八回黨大會に關聯して——

S S 生

二月十五日午後八時からクレムリン宮殿の大ホールに於て開催された、第十八回全聯邦共產黨代表會議はその中心議題として工業と運輸殊に鐵道と道路の兩問題を全面的に取上げて検討してゐる。本會議において蘇聯企業運輸機關

の無計畫、浪費、技術的低下、無指導性等が痛烈に批判され、計畫經濟遂行上重點をなすべき、工業企業並に運輸關係にある鐵道及び道路のかゝる缺陷は、今後蘇聯の國民經濟の運用上に重大なる障碍を與へるものとして、共產黨はマレンコフ氏の報告に對する討論に基いて、その結論を得て三月に至つて、非常に嚴重なる指令を全企業と運輸機關全般に互つて發したことは極めて注目せらるゝところであ

る。今茲に讀者諸賢の參考にまで全聯邦黨中央委員會書記マレンコフ氏の報告を最近到着したる機關紙に依つて見ると。マ氏は工業及運輸部門に於ける黨組織の活動について、蘇聯工業及び各種運輸の發展を報告して。

前大會から今日に至る、二年間の蘇聯の工業及運輸は堅實なる發展を遂げて來た、即ち千九百三十八年度の重工業生産額は、千六百八億三千四百萬ルーブルであつたが、千九百三十九年度には千二萬三千九百五十萬ルーブル、千九百四十年には、更に千三百萬七十五億ルーブルに上つてゐる。又千九百三十八年度の鐵道道路等に依る運輸量を千九百四十年に比較すると、鐵道運輸に於て

一〇、三パーセント、道路に於て七、三パーセント、河

川運輸では二〇、八パーセント、沿岸運輸では一五、一パーセントの増加を示してゐる。而して千九百四十年度に於ける工業及一般運輸は、第三次五ヶ年計畫の影響を受けて新技術の修得陸海軍國防機材の必要に基く、軍事産業の振興に依つて、飛躍的發展を遂げた。又過去二ヶ年に於ける工業及運輸部門道路運輸をも含む、事業は頗る増大して、千九百三十八年の二百二十三億四千百萬ルーブルは千九百三十九年には二百五十億三十七百萬ルーブル、千九百四十年には二百七十七億二千八百萬ルーブルとなつてゐる。今や社會主義勝利のため工業及び運輸部門を一層發展せしめねばならぬ。今や吾々は強固なる社會主義工業國となつてゐるが、尙且工業及び一般運輸部門に於て勞働力の若干不足を來たしてゐる。黨組織活動の重心は、從來農業部門に置かれてゐる。併し穀物の年産が七十億封度乃至八十億封度に達し、穀物増産問題が解決した今日は黨組織活動は今後工業及び一般運輸部門

に移行せらるべきである。

と述べて、今後は工業及び一般運輸即ち鐵道道路沿岸運輸等に力を注ぐために、これ等企业に必要な諸機械原料資材等の圓滑利用と貯藏の必要を強調してゐる。

元來何れの國でも同じであるが、蘇聯の國內運輸關係は、やはり主として鐵道と道路及び河川沿岸水運を利用してゐるが、その内でも最も運輸力に至大の關係を有するのは、鐵道と道路である。蘇聯はその地勢上概ね土地は平坦なるを以て、鐵道及び道路の建設には、最も好都合の自然的條件を具備してゐる。然るに今日までは、國土に比例して、鐵道も道路も、その建設はあまり進んでゐない。千九百三十九年度の統計に依ると、鐵道延長は八萬五千キロ、面積は百萬キロに付き四キロに過ぎない状態である。これを列國に比較するとカナダ、オスタリヤに遙かに劣つてゐる。鐵道の利用する乗客の如きも一ヶ年九億六千萬人である。これを我國の十二億四千萬人に比較すると、國土と人口の割合から觀察して遙かに少ないのである。貨物輸送は

二億三千キロで我國の八千四萬キロから見ると多いが、これでは資源開發、國民經濟の發展には不充分である。鐵道中心は、モスコウで、主要なる幹線はこゝを基點として出發してゐる。彼のシベリヤ鐵道を始めとして中央アジア鐵道、コーカサス鐵道、トルキスタン鐵道、ベリヤ鐵道等の幹線の外に支線もあるが、道路の方は之れ亦千九百四十年度の統計に依ると二百七十萬キロの延長線を保持してゐる。これは全く米國に次ぐ延長を持つてゐるが、併しなから國土の尨大なる割合に對して量的に不充分であるのと共に、質的にも缺いで居る。全道路の上を走る自動車のみも十八萬二千臺である。これがために政府は鐵道の建設と道路の改装と擴大にも相當の努力をなしてゐることは、マレンコフ氏の報告の中にも見へてゐるのであるが、氏も云つてゐる通り最近勞働力の不足が意の如くならんやうである。

共產黨委員會は、過般黨大會後に引續いて、運輸部門に於て種々各資料に依つて調査研究してゐるが、道路網の大

擴張計畫と現有道路の改装改善に最も力を致して、尨大なる國土の鐵道運輸の補助的機能を完備せしめんとしてゐるやうでゐる。この計畫もモスコウ區管を基點として全國をシベリヤ、コーカサス、バルカン境等十二種類に區劃して、國防充實計畫と配合せて、運輸と交通を調和して計畫をなしてゐるやうである。殊に印度の背後に出づる西藏道路の完全計畫の如きは産業開發は第二次的として軍用的意義の深いものがある。

マレンコフ氏の報告に對して共產黨代表會議工業及び一般運輸部門が發した指令は、

工業及び鐵道道路等の設備は何等かの正規な計算を缺く、企業活動にあつては、豫期せざる材料の不足から生産の失敗を招くは必定であり、大機械も不十分にしか利用出來ず、且原材料燃料電力は浪費され、又企業鐵道道路に於ては、材料價値は完全に保持されてゐない。従つて企業指導者は委託された財産たる建物設備、器具材料は大切にすべきである。

と云つて、設備原材器具が放り出されて錆び付いて、何等役立たなくされてゐる場合、又は道路建設、器具、車輪等が不時に破壊される等、國民財産に對するかゝる不經濟な態度を無くすべきであると警告を發してゐる。更に又生産に對する基礎的教養なくして、蘇聯工業及び一般運輸の將來の發展を確保することは不可能であると論じ、更に各工場、鑛山、鐵道、道路等は豫め作成せる計畫に従つて、日々の生産計畫の遂行に努むべきであると述べて、更に詳細に蘇聯の鐵道、道路、其他各種運輸機關の缺陷に對する、克服指令を發してゐるのを見ても、如何に蘇聯は現在に於て鐵道と道路の改善擴張に、その重點を置いてゐるかは略ぼ窺はれるのである。

併しながら過去の蘇聯の鐵道と道路計畫等を見ると、第二次五ヶ年計畫の中期であつた。千九百三十三年には、計畫通り行くに鐵道貨車が六萬四百三十輛が輸送に動員される筈であつた。ところが事實は四萬八千七十一輛が動かされたのに過ぎない。又千九百三十四年には貨車の配備は一

日最低六萬三千輛以上の計畫が確定したにも拘らず、この計畫は到底實行出來ないことが判明したので、千九百三十五年になつても、この數は豫定通り克く行かなかつたために何十萬噸といふ鑛産物の外に、生活に緊要なる物資の運搬にも支障を來たして地方到るところに莫大な物資は山積されて、只だ徒らに雨ざらしとなつてゐる状態であつた。

亦千九百三十八年には十六萬の貨車は約四百の貨物列車であつて、この五百料のために各列車は五日間を消費した。従つてこのことに依つてロシア全體の穀物輸送の四分の一が阻害されたこともあつた。亦道路に於ても、その延長の割合に惡道が多く裝備が十分でないために貨物自動車に依る輸送力は豫定の計畫の如くならず非常に齟齬してゐることを委しく書いてゐる。嘗てブラウダ紙は「蘇聯官僚達のお粗末な計畫は事々に齟齬を來たす」……「しやぼん玉を吹く人達」と題して、「雲の上にある最高の指導部の計畫は次の部へ行くにシャボン玉のやうに破裂する。すると、そこで新しいもつと小さい計畫をたてる……併し粗略

な蘇聯の現實にあつては、そのうちに度々縮少された計畫もやはり雲の上から降りてきたシヤボン玉でしかないから「忽ち粉碎される」と皮肉つて漫畫でこの事を滑稽味たつぷりに表現してゐるが、事實蘇聯の計畫は何んでも尨大ではあるが、これが實行は伴はないやうで、これがため屢々修正される。今度の蘇聯共産黨の工業及び運輸部門委員會に於ける缺陷克服警告も、畢竟以上の原因から端を發してゐる。今度の道路の一萬七千キロ計畫も亦これに相似せざる

ことを一露紙は警告してゐるが、期して後日の實現に俟つことにする。クレムリンの最高スターリン、カリーニン、モロトフ、ウオシロフ、カガノヴィチ、ジュダノフ、ミコヤン、ペリヤ等々の諸氏及び國防關係のテイモシエンコ、クズネツオフ等の人々の手腕と力量が蘇聯の全體運輸機關の高度發達を如何に現はすかは注目に値する問題である。

(三十二十七日記す)

北方迂回ルートとビルマ・ルート

多田基

二點間の最短距離は直線であると云ふ公理は、我々の常識であるが、この公理は平和時代の贅澤品である。現在では英國のエジプト向け商品はアフリカ洲を迂回して送ら

れ他方海外植民地からの英本土向け食糧品及軍需資材は我々の豫想出来ない航路を獨逸及伊太利海軍の眼を避けて進んでゐる。又米合衆國のベルリン訪問者は現在では日本、